

【副専攻】 防災リーダー教育プログラム

1 プログラムの目的・ねらい（ディプロマポリシー：DP1）

防災教育研究センターでは、「**防災マインド**（防災への優れた知識と行動する心）」を持ち、地域や社会に貢献できる人材の育成を目指し、副専攻「防災リーダー教育プログラム」に位置づけて「防災教育」を推進しています。

この副専攻では、**減災復興学***に関する幅広い**知識**、学び考えたことや経験を仲間たちと共有し、自ら感じ、何ができるのかを考えながら、**現場力**を磨きます。さらに、**コミュニケーション能力**を高め、**実践力**を身につけます。その結果、社会に出たときに防災マインドを持って、冷静かつ的確に対応する**総合力（人間力）**を持った人材を育成します。

***減災復興学**とは、「減災の総合化」という視点から減災と復興を一体的に捉えて、安全で安心できる社会の持続的発展を目指すための学問体系をいいます。また、この減災復興学に基づき「政策の現場化」において、現場から現場への政策的コミュニケーションを大切にし、研究や教育の社会的還元を目指します。減災復興政策研究科において、これら「減災の総合化」とあらゆる人々に届く「政策の現場化」を大切にするという考え方を科学的な視点から実践しています。



実践的な科目とフィールドワーク（防災実践講座、防災社会貢献ディベート大会、あまおだ減災フェス）

2 求める学生像

特別必要な基礎知識やスキルはありません。上記目的にあるような、減災復興学に関する知識を身につけたいと考えている意欲的な学生を求めます。学部 4 年間で身につけた主専攻の内容に加え、さらに減災復興政策研究科で引き続き研究活動をしたいと考えている学生を求めます。

3 プログラムの概要

次の表のように、減災復興学 3 領域（「災害科学」、「減災コミュニケーション」、「減災復興ガバナンス」）に関する基礎知識を学べる科目、座学の講義だけでなく、受講者が実践的に活動する「防災実践講座」を用意しています。さらに、市民救命士及び防災関連の資格である「防災士」の受験資格を得ることができる「防災リーダー育成講座」、少人数で減災復興学に関する卒業研究、地域防災活動に参画する「防災ゼミナール I・II」があります。

副専攻・防災リーダー教育プログラムの定員は 1 学年 30 人で、要件を満たす 20 単位以上を修得すると、卒業時に卒業証書に加え、副専攻【**防災リーダー**】の称号を附した修了証を授与します。

4 カリキュラム、開講科目等

開講される科目は、以下の表のとおりです。そのうち、**共通（基礎）教育科目**は、「**全学共通科目（県大特色科目「防災教育」）**」として卒業所要単位にカウントされます。また、本プログラムの**専門教育科目**は、基本的には学部の卒業所要単位にカウントされませんが、科目によっては、学部の**専門教育（または、専門関連、専門基礎）科目**として卒業所要単位に算入できるものがあります。専門教育科目のうち、【**専門区分 D**】は副専攻生必修の科目になります。詳しくは、下表の「備考」欄や所属する学部の規程などで確認してください。

学修成果の評価は、試験、レポート、参加度、発表内容、実技等により、学修目標に即して多面的な方法で行います。

《防災リーダー教育プログラム 開講科目一覧》

区 分	共通・専門	授業科目の名称	開 講 年 次	単 位	備 考
防災・減災 基礎	共通(基礎) 教育科目	地球の営みと災害☆	1～4	2	全学共通科目
		兵庫の歴史と自然災害史☆	1～4	2	全学共通科目
		生活と防災☆	1～4	2	全学共通科目
		社会特性と減災復興☆	1～4	2	全学共通科目
		災害支援とボランティア☆	1～4	2	全学共通科目
災害科学	専門教育科目 【専門区分 A】	地震津波と防災・減災※	2～4	2	環境人間学部専門教育科目 理学部専門基礎科目
		自然災害と観光復興※	2～4	2	環境人間学部専門教育科目
		気象・気候変動と災害※	2～4	2	環境人間学部専門教育科目 理学部専門基礎科目
減災 コミュニケ ーション	専門教育科目 【専門区分 B】	防災教育とリスクコミュニケーション※	2～4	2	環境人間学部専門教育科目
		災害と人と健康※	2～4	2	看護学部専門関連科目 I 環境人間学部専門教育科目
		防災実践講座※	2～4	2	環境人間学部専門教育科目
減災復興ガ バナンス	専門教育科目 【専門区分 C】	まちづくりと減災復興※	2～4	2	環境人間学部専門教育科目 社会情報科学部専門科目
		災害リスクマネジメント※ (企業防災 (BCP) 論) ※	2～4	2	看護学部専門関連科目 I 環境人間学部専門教育科目 国際商経学部専門教育科目
		減災復興政策概論※	2～4	2	環境人間学部専門教育科目 社会情報科学部専門科目
フィールド ワーク等	専門教育科目 【専門区分 D】	防災リーダー育成講座※◇	2～4	2	
		防災ゼミナール I ※	2～4	2	
		防災ゼミナール II ※	2～4	2	

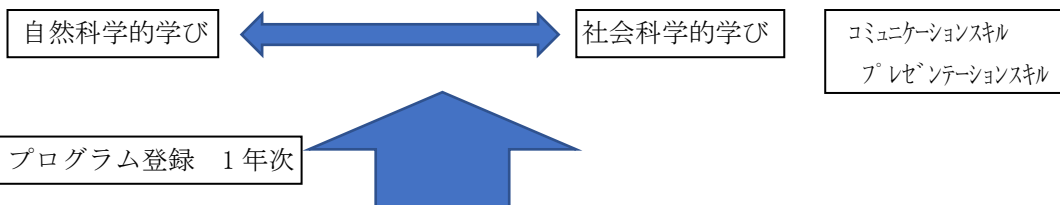
(注) ☆は、神戸商科キャンパスで対面式、姫路工学 C (書写) へはオンライン配信します。※は、神戸防災キャンパス (HAT 神戸) 内の防災教育研究センターで、土曜日 (前・後期各 2 部制) もしくは夏季集中の講義として開講します。【専門区分 D】の 3 科目は 2 年次から 4 年次まで受講可能ですが、「防災ゼミナール I、II」は同じ学年次に受講してください。◇は、防災士の資格取得のための講義となります。資格取得のための教材費、受験料、認証登録料は自費となります。

《防災リーダー教育プログラムの修了要件と称号》

授与される称号	内 容	定 員	修了認定要件
防災リーダー	防災リーダーとしての知識や災害現場などでの実践力・コミュニケーション力が身につく	1 学年 30 人	20 単位（10 科目）以上 ただし、 * 共通（基礎）教育科目から 1 科目以上必修 * 【専門区分 A～C】それぞれ最低 1 科目必修 * 【専門区分 D】のすべての科目必修

《防災リーダー教育プログラムのカリキュラムマップ》

	災害科学	減災コミュニケーション	減災復興ガバナンス	フィールドワーク等
防災リーダー教育プログラム [専門科目] 2～4 年次	地震津波と防災・減災	防災教育とリスクコミュニケーション	まちづくりと減災復興	防災リーダー育成講座
	自然災害と観光復興	災害と人と健康	災害リスクマネジメント	防災ゼミナールⅠ
	気象・気候変動と災害	防災実践講座	減災復興政策概論	防災ゼミナールⅡ



全学共通教育科目 防災リーダー教育プログラム [基礎科目] 1～4 年次	地球の営みと災害	生活と防災	社会特性と減災復興
	兵庫の歴史と自然災害史	災害支援とボランティア	

5 履修方法、問合わせ先

防災リーダー教育プログラムの専攻生になるには、申請・登録が必要です。登録申請は、1 年次の前期 5 月頃及び後期 12 月頃の 2 回に分けて、「ユニバーサルパスポート」(WEB)で行います。神戸商科キャンパスや姫路工学キャンパスの掲示板や防災リーダー教育プログラムの基礎科目の講義中に案内しますので、注意しておいてください。また、専攻生の希望者が定員を大きく超えた場合、選抜を行うことがあります。

【注意事項】

科目によっては、交通費や参加費などの諸経費が必要な場合があります。



【問い合わせ先】

神戸防災キャンパス内 防災教育研究センター センター長補佐：教授 浦川 豪
 TEL：078-271-3290 代表メール：gensai@ofc.u-hyogo.ac.jp

「兵庫県立大学神戸防災キャンパス」

HAT 神戸（神戸東部新都心）の「人と防災未来センター」東館4階および6階にあります。

所在地：〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2

事務室 電話：078-271-3290 FAX：078-271-2702

アクセス：【電車】阪神電車「岩屋」駅・「春日野道」駅から南へ徒歩約10分、JR「灘」

駅から南へ徒歩約15分、阪急電車「王子公園」駅から南へ徒歩約20分

【バス】三宮駅前から約20分（神戸市営バス・阪神バス）

※ 公共交通機関を利用してください（無料の駐車場はありません）。



阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

